

「芥川での忘れえぬ光景二題」

大阪工業大学都市デザイン工学科
教授 綾 史郎さん
(芥川倶楽部アドバイザー)

筆者と芥川の付き合いは淀川の生態系の物理環境の研究を始めた20年程以前である。

1970年頃から始まる淀川の河川改修により河川生態系で最も特徴的な増水時に水を被る冠水帯の面積がそれまでの1/4程度に減少したが、残された冠水帯では春先から梅雨期にかけての出水時にフナやコイをはじめとする魚類の産卵が続いていることを知った頃である。このような魚類の営みは釣り人たちにはよく知られたことであるが、私にはとても新鮮で、淀川本川左岸側では城北ワンド群や支川穂谷川合流部の浅瀬や砂州、楠葉砂州、右岸側では鶴殿から前島にかけての砂州群、桧尾川合流部、そして芥川合流部においてよく見られた。芥川が本川に合流する唐崎あたりは1970年代以前は広大な冠水帯といくつものタマリ（一時的な水域）が広がっており、出水後に沢山の魚が取り残され、それを取りに行くのが幼い頃の楽しみであったとは後に淀川資料館の松永さんに聞いた話である。現在では、本川の水位低下によりヤナギの大木群にクズやカナムグラなどのツル性植物が覆ってしまっているが、最近、やっと、その環境復元のためのワンド造成などが始まった。一方、芥川の河口から芥川大橋上流の落差工までは河川改修も終わっており、枚方大橋下流では城北ワンド群と並ぶ大規模な冠水帯を構成している。殊に芥川河口は本川の水位上昇の影響を受けるし、また、芥川流域の降雨による短時間の水位上昇もある点が異なっている。フナの産卵は夜行われることが多いので観察の機会が少ないが、コイは水位上昇



があれば晴れた昼間でも見ることが出来、特に、鷺打橋下流の樋門付近で見たものは忘れがたい。水叩き下流の水位上昇により水で満たされたコンクリートブロックの間を50cmを越える大きさの何十尾ものコイが恋に取り憑かれ、人の接近も構わず追いかけあっている光景であった。

その後、魚みちの検討会に参加するようになってから芥川を観る機会も増え、範囲も塚脇橋辺りまで広がった。魚や鳥、子供たちが川で遊ぶ風景等を見ながら川に沿って車で移動して行くのであるが、素っ裸の男児とさすがにパンツをはいていたが女兒からなるカワガキたちが水の中を跳びはねて水と遊んでいたりと、水浴や水泳を楽しんでいるのを目撃する機会があり、思わず呆然としてしまった。50年前の、田んぼの広がる田舎ではなく、平成の時代、人口35万人の大都市の市街地の真中であった。

残念ながらこれらの光景の写真がなく、今ではマボロシであったかと思うばかりであるが、余計に忘れがたい思い出になっている。

今年度予定事業

お父さんのための魚とり講座

7月24日

ミスヒマワリを駆除しよう!

9月19日

ミスヒマワリを探そう!

12月4日

芥川クリーンアップ大作戦

3月24日

アユちゃんお得意な祭!

本年3月、芥川大堰に待望の魚みちが完成しました。これにより、芥川倶楽部が目標としてきた、摂津峡まで天然アユを遡上させることが、実現に一歩近づきました。そこで、完成を記念して、全5回の連続講座を開催します。あなたも「アユ博士」を目指して参加してみませんか?

第3回 アユの産卵場を整備しよう!

10月1日(土)

第4回 アユの卵を見つめよう!

11月5日(土)

第5回 アユ遡上継続・増加を目指して!

2月

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントと一緒に参加してくれる方を募集しています。イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

ブログ: <http://akutariv.blog85.fc2.com/>

HP: <http://akutagawaclub.web.fc2.com/>

e-mail: akutagawa0726@yahoo.co.jp

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより



Vol.10
2011年
夏号



アユちゃんお得意な祭!! ~芥川大橋上流魚みちをアユが遡上~

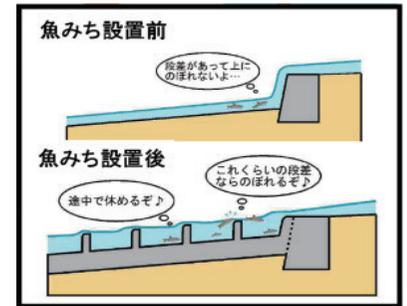
本年3月、芥川大橋上流落差工に待望の「魚みち」が完成しました! その「魚みち」を通り、大阪湾から淀川を経て芥川下流部まで来ていた天然のアユたちが、さらに芥川の上流へ遡上しています!

5月17日の調査では、およそ2時間の定置網設置の結果、芥川大橋上流魚みちを1尾の天然のアユが遡上、さらに6月24日には桜堤公園で、そして6月28日にはなんと.....あくあびあ芥川前でもアユを捕獲しました!

さて、本号では「魚みち」について少しくわしく紹介していきます。

「魚みち」とは...

川には、治水・利水上に必要な構造物である堰や、落差工が設置されていますが、これらは、川の中での魚たちの自由な行き来を阻害しています。そこを再び行き来できるようにと設けられた階段状の水路を「魚道(ぎょどう)」といい、芥川倶楽部ではこの「魚道」のことを愛着をこめて、「魚みち(さかなみち)」と呼んでいます。芥川倶楽部では、これからも「魚みち」の整備をはじめ、大阪湾から芥川に遡上してきた天然アユが、摂津峡まで遡上することを目指した活動に取り組んでいきます。



平成23年(2011年)7月 発行 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク~愛称: 芥川倶楽部~

事務局: NPO法人 芥川倶楽部 〒569-0805 高槻市上田辺町1-1-8 TEL 072 (685) 3503

ホームページ <http://akutagawaclub.web.fc2.com/>

~~~「芥川」は大阪ミュージアムの登録物に認定されています~~~